

IV 地域との連携

1 地域協議会等への参画

(1) 地域協議会への参画

地域協議会の各種会合にオブザーバーとして出席し、地域協議会の各種行事等について検討・助言を行いました。

また、地域住民等に対し、赤谷プロジェクトの活動を一層普及するため、地域協議会会員向けの「いきもの村探検ツアー」（自然観察会）をサポーターの協力を得て実施しました。



総会（会長挨拶）



探検ツアー（水生昆虫の観察）

(2) 地域行事への参画

平成22年度は、地域のイベントに積極的に協力していくこととし、8月21日に永井地区の子供会主催の三国清掃登山に参加しました。伝統ある登山として親子で行うレクリエーションで、当日は天候もよく良い汗を流しました。

また、8月28日の赤谷湖湖上花火大会では、赤谷プロジェクトを紹介する展示等に協力しました。この日は来場者も多く盛会となりました。

今後とも地域のイベントに参加することにより、赤谷プロジェクトが更に地域とともに発展していくように努めていきたいと思えます。



三国永井子供会清掃登山



花火大会の展示の様子

2 「ムタコの日」の開催

(1) 「ムタコの日」について

ムタコ沢は地域の水源地として、地域住民の飲み水等で広く利用されてきました。しかし、1980年代に大規模なスキー場を造成するリゾート開発計画が始まり、今まで使われてきた水源地の水が汚れるため、水源地をムタコ沢本流から支流に移動しました。

その後、リゾート開発計画が中止となり、再び水量の多い本流に水源地を戻したいという地元からの要望があります。

以上のような経緯から、「ムタコの日」は、地域づくりWGの中でも地域協議会が中心となり、地元の人に生活用水の水源地を知ってもらい、その水源地を育てている森の様子や仕組みを学んでもらい、住民の手で水源地の森を守っていくことを目的に様々な行事を行っています。今年度は、自然観察として土壌生物の観察と緑のダム実験（透水試験）を盛り込み、楽しく学ぶことができました。

赤谷センターも「ムタコの日」を支援するため、カラマツ林での森林再生講座を中心に準備段階から協力しています。

これからも、このような機会を活用した環境教育等の取組により、地域の森林環境保全を更に進めていきたいと思えます。

(2) 主な実施内容

ア 森林再生講座（8月8日開催）

間伐体験による森林の水源かん養機能増大について実習しました。

イ 自然観察会（10月17日開催）

自然観察を行いながら土壌の中にある小さな生物を探し出し、実体顕微鏡で観察しました。また、森林土壌の透水実験を行いました。



カラマツの間伐体験



土壌生物の観察



森林土壌の透水実験